

広報 ふじ

NO. 138

48.7.5 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



ちびっ子で大にぎわいの市民プール

土曜、日曜日となると市民プールはチビっ子ガッパでおおにぎわい。6月24日の日曜日には、午後1時ごろ3000人を突破。広いプールも超満員になりました。あまり入場者が多くなると監視も思うように出来ず、危険なため午後1時30分から約30分間入場制限を行なったほどでした。また、プールの回りを飛び回り、ころ

んでケガをした子どもが出ました。場内放送や監視員が注意を呼びかけていますので、子どもさんがプールに出かける前には、市民プールの決まりを守るようにいってください。なお、市民プールは左の図のように五味島の潤井川ぞいですが、お出かけになる時は、駐車場が狭いのでなるべくバスをご利用ください。



岳排を利用している 114工場の立入り調査

市公害課と岳南排水路管理組合は、環境週間の事業の一環として、6月4日から13日まで、岳南排水路に排水を流している市内の114工場の立入り調査を行いました。調査は汚泥引抜管があるか、スクリーンを設置してあるか、濁度計は設置してあるかなど9項目にわたって行ないました。

この結果、調査した114工場のうち77工場が、污水处理施設の不備が見られ、未処理水をたれ流していた疑いが出てきました。

77工場のうち、未処理水が常時排出されていたと認められた工場は、豊年製紙(株)鷹岡工場、富士共和の2工場です。また丸井製紙板紙工場、天間製紙天間工場では、未処理水の一部が一時的に排水されたと認められました。このほか、未処理水の一部が構造上の不備や操作によって

排出される恐れがある工場は73工場ありました。

これらの工場に対しては、施設の改善などを行なうようにその場で指導しました。

また、市ではこの調査結果をさっそく県公害課に報告しましたが、報告を受けた県では、再び立入り調査を行なうことを発表しました。

県公害課で76工場を 再調査

第2次調査は、6月20日と21日の2日間に県・市・岳南排水路管理組合で行ない第1次調査の時確認された違反事項の改善状況などを調べました。調査の対象は76工場で、67工場が指摘された事項の改善を完全実施していました。また、指摘された事項を完全に改善するには時間がかかるので、暫定的に実施していたのが5工場、指摘事項の内一部を改善して

いたのが4工場です。

なお、これらの工場からは事情聴取も行なっていましたが、豊年製紙(株)鷹岡工場、丸井製紙(株)板紙工場、天間製紙(株)天間工場、富士共和製紙(株)の4工場が、岳南排水路に未処理水を排出していたことが確認されました。このため、水質汚濁防止法第13条(改善命令)にもとづき、汚水などの処理系統、処理施設までの導水方法などの改善命令に対する改善計画書および誓約書を提出させます。また、特定施設の3日間停止を自主的に行ない施設の改善および公害総点検を実施するよう行政指導を行ないました。

このほか72工場に対しても水質汚濁防止法13条にもとづき、改善命令に対する改善計画書を提出させます。

また、第2次調査時点で、(株)井出紙業所、東興紙業(株)、丸仁製紙(株)の3工場が排水基準を上回る排水を岳南排水路に流していました。そこで、3工場に対して水質汚濁防止法第13条にもとづき、特定施設の一時使用停止命令を出しました。

立入検査の強化で 悪質工場を告発

これからも、県・市・岳南排水路管理組合で、立入り検査を実施し、排水基準違反工場に対してはきびしい行政処分を行ない、特に悪質工場は告発するなど、立入り検査の強化をはかります。

また、工場の半数以上が濁度計を設けていないので全工場に設置、大手企業にCOD(化学的酸素要求量)測定装置の設置、排水の適正な採水口の設置などを強力に指導していきます。このほか、污水处理施設の事故がいつ起っても対処できるように、排水貯留槽の設置、予備ポンプの設置なども指導します。





自然界を循環して体内に蓄積される

テレビ、冷蔵庫などに使用されている

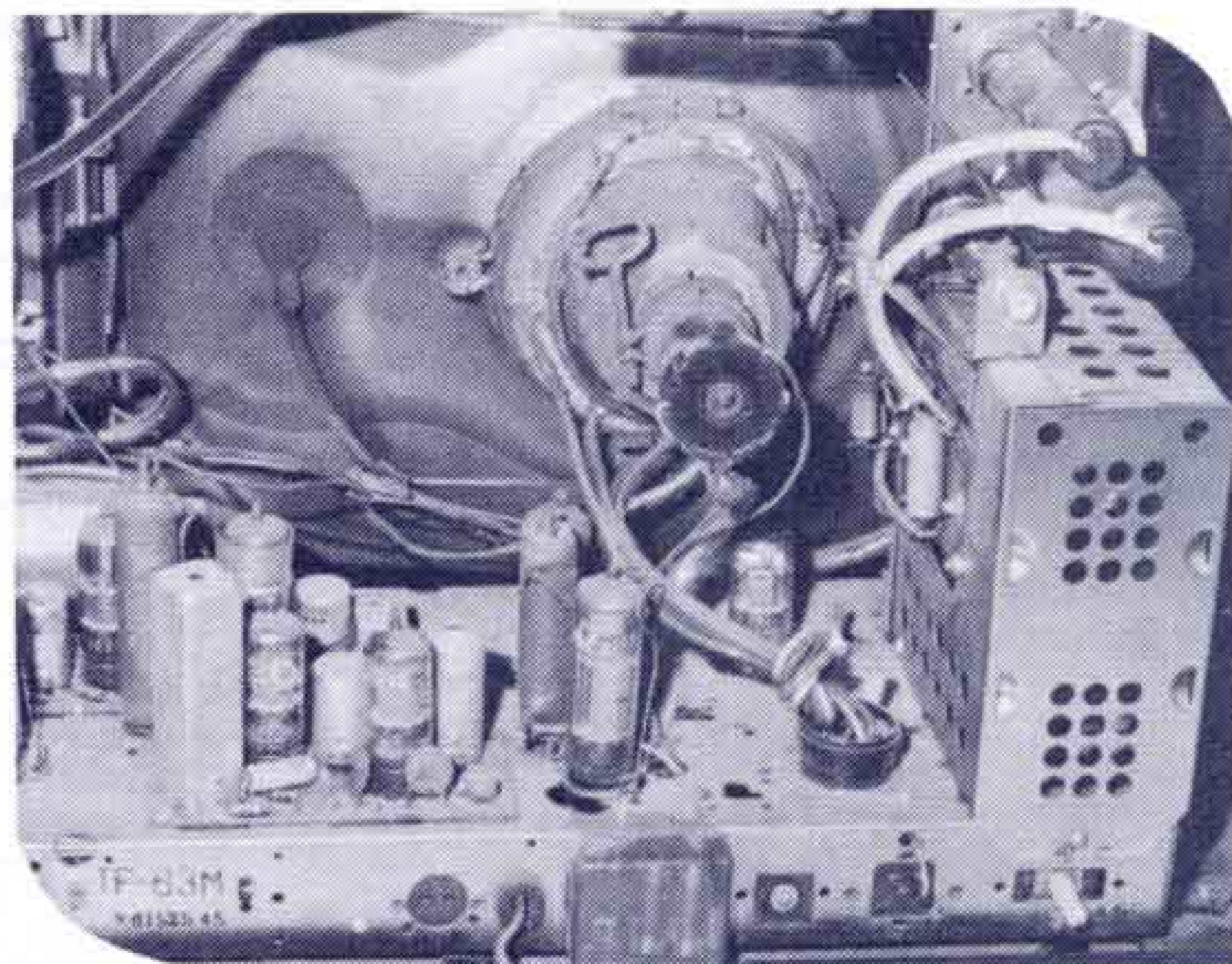
××湾の魚介類から高濃度のPCBを検出—などと、現在PCBによる汚染公害がおおきな社会問題となっています。すでに、PCBの毒性はカネミ油症事件などでご存知のように、生命までもうばってしまう恐ろしい物質です。

反面、PCBはすぐれた特性があり、これまでコンデンサーやトランス、感圧紙、塗料などに使用されてきました。しかし、このような毒性から生命を守るために、生産は47年6月に中止され、PCBを使用した電化製品の製造も47年8月には完全に中止となりました。

こうして、PCBは現在使われていませんが、すでに一般家庭に出回っているものも多く、私たちの日常生活に欠くことのできないテレビ、冷蔵庫、洗たく機などに使われています。これらの電気製品に使用されている間は、金属などで完全に密閉されているので心配はありません。心配なのは古くなったり故障したりして捨てられたときです。密閉してある金属が破れ、PCBが大気中に放出され

たり、川や海に流れ込み自然界を循環して体内へはいつてくるのが予想されるからです。

PCBは化学的に安定した性質のため、体内に入ると分解も受けにくく体内に蓄積し、中毒症状をおこします。中毒は普通、急性中毒と慢性中毒に区分され、急性中毒は短期間の作用で、激しい症状をもたらす、死亡率も高くなっています。慢性中毒は、毒物が少しずつ体内にたまるので、じょじょに影響が現われてきます。



【テレビのコンデンサーにもPCBが】

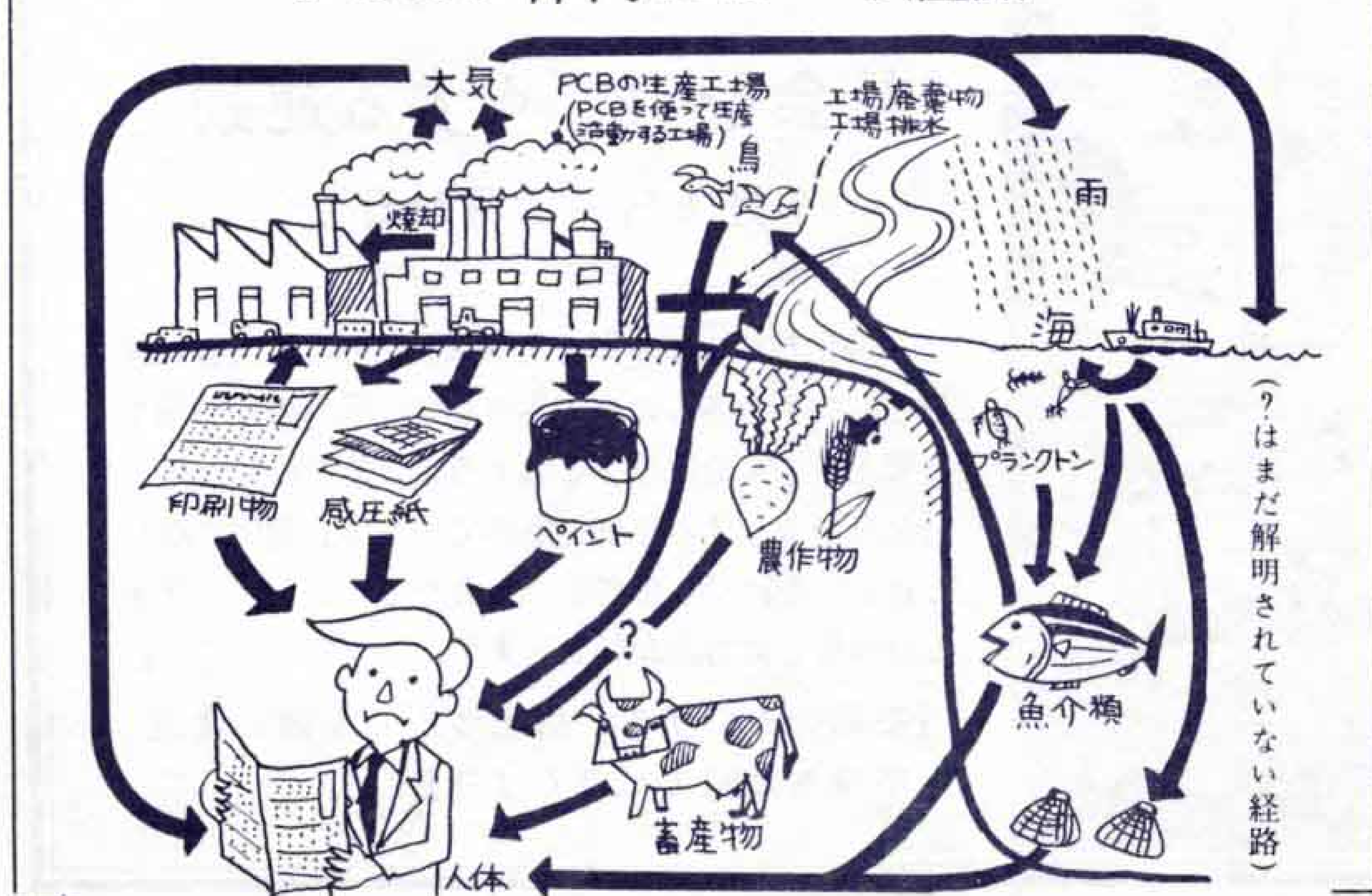
PCBの使用部品を完全回収

そこで、これ以上PCBによる環境汚染を広げないようにと、市では県の指導のもとに、家庭電化製品のうちPCB使用のコンデンサーやトランスなどを完全回収することになりました。

PCBを部品に使ってある電化製品は昭和30年から47年までに製造された、電子レンジ、ルームエアコン、テレビ、換気扇、扇風機、かくはん式洗濯機、400W以上のけい光灯、井戸ポンプ、旧型の掃除機などです。これらの廃品から、PCBを使用したコンデンサー、トランスなどの部品を取り除くわけですが、回収した部品は、メーカーが責任を持って公害にならないよう処理することになっています。

なお、市内の家庭電化製品小売業者で下取りなどを行ない廃棄処分する場合は環境整備課の指示に従ってください。したがって、みなさんがこれらの電化製品を廃棄物として捨てる時は、危険物の集積場所へ出してください。

PCBが体内にはいる経路



PCB

ポリ塩化ビフェニール

石炭や石油を原料としてつくられるビフェニールという化合物の水素が塩素に置き変わったものでDDTに似た構造をしています。その性質上、廃棄処理が困難で環境汚染源のひとつとなっています。

事故のない明るい生活で夏休みを

まもなく梅雨も明け、いよいよ本格的な夏がやってきます。子どもたちは、海に山に楽しい計画でいっぱいでしょう。

今年は7月26日から小中学校の夏休みが始まります。40日もの長い休みになるわけですが、子どもさんのいる家庭では、病気や事故にあわないようにと、なにかと気苦労が多くなるかと思えます。

夏休みを楽しく過ごさせるためには、まず、からだを丈夫にすることです。それが学校に夏休みのある一番大切な理由であり、目的でもあるわけです。それでは、子どもたちが夏休みを元気にすごすため必要なことを2、3あげてみました。

■からだをきたえる

なにかひとつ体力づくりを考えて、毎日つづけさせ

じょうぶなからだづくりに心がける。泳

げない子どものために、水泳教室なども行なわれますから、積極的に参加させる

治療に時間のかかる眼・鼻・耳・歯の病気などを直すことです。せっかくの夏休みに病院通いではかわいそうだと放っておくことこそかわいそうです。

■きまり正しい生活

いくら休みだからといって夜ふかし朝寝坊は健康によくありません。朝寝坊すれば朝の食事は不規則になり、胃の働き

もわるくなります。発育途中のお子さんによい結果が生まれるはずがありません。食事は少しずつでも3度3度きちんとさせることが、お子さんの健康を守る第一歩といえます。

■事故のない生活

子どもは危険な場所でほど遊びたがりますので、ときどき注意してやることです。また、夏は日が長いため、子どもたちは時間のたつのも忘れてしまいます。お子さんに時計をもたせて遊ばせておくわけにもいきません。幸い富士市には、広報無線放送がありますから、5時の定

時放送を目安にするのもよいかと思えます。まだ5時ごろでは、遊びに夢中かと思いますが、子ども同志にもお互いにいい聞かせておけば、案外わかるのではないのでしょうか。

■計画的な勉強

とにかく子どもたちは、休み前に自分で守れそうもない時間割をこしらえるようです。あれもこれもとよくばりすぎてはかえってマイナスです。子どもさんのことは、お父さんお母さんが一番よく知っているわけですから、こんな時に注意してやることも大切です。

“105人”の子どもが 誘かいの被害に

なお、昨年、県下で痴漢やいたずらが目的で、誘かいの被害にあった子どもは105人もいました。このうち、13才未満の子どもが50人で半数を占めています。なかでも未就学児や小学校1・2年の生徒が27人もおり、幼い子どもが最もねられやすいことを示しています。

こうした犯罪を防ぐためには、やはり家庭でのしつけが大切です。これは夏休みだからということではなく、常に心がけて心がけてください。

家庭でのしつけとしては、いつも行き

先をいって出かけさせる一人目が届かない場所ではひとり遊びをさせない—暗くなるまで遊ばせない—知らない人から「車に乗せてあげる」「お菓子を買ってあげる」などと誘われても、ついて行かせない—などを徹底させることです。

また、親としては子どもがどこで遊んでいるか、いつも気をつけ、特に幼児の場合は、保護者が同伴することです。不似合な子ども連れで、様子がおかしいときは、すぐ110番で通報するなど心がけてください。

社会を明るくする運動

7月1日～7月31日

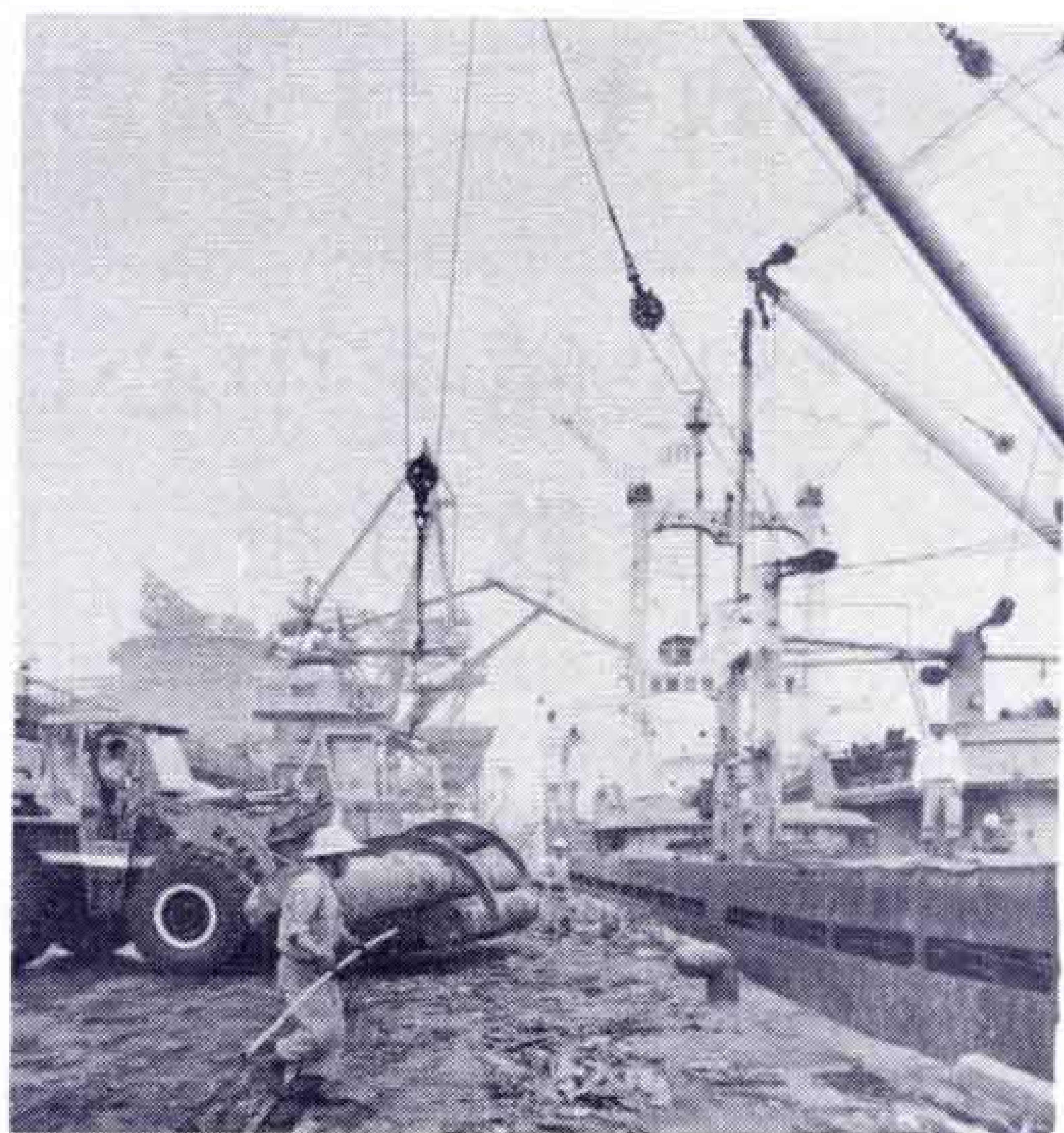
不良化した少年や罪を犯した人たちに、大きな理解と愛の手をさしのべ更生を助け、犯罪のない明るい郷土をつくり出す。このような目的で、ただいま社会を明るくする運動を進めています。希望に満ちた青少年をはぐくむ明るい社会を築くよう、みなさんの理解と協力をお願いします。

【犯罪のない明るい郷土づくりを願い渡辺市長も街頭でビラくばり】





【農協会館で第10回静岡県貿易推進大会】



【田子の浦港は昭和41年国際貿易港に指定】

出入船舶は年間1万隻

6月28日の貿易記念日。この日、第10回静岡県貿易推進大会が、農協会館で行なわれました。

私たちの暮らしや仕事は、世界経済といろいろな面で結びついています。貿易は世界経済と私たちをつなぎ、消費生活を豊かに、生活水準を高めてくれる重要な役割を果たしています。

田子の浦港も昭和41年国際貿易港の仲間入りをし、県下では清水港について2

番目の国際貿易港となりました。田子の浦港を利用する船は年ごとに増え、昨年は1万隻を突破しました。船もだんだん大型になり、1万トンを超える船が月に20隻ぐらい出入りしています。

入港船のほとんどが国内航路の船で、外国航路の船は196隻でした。このうち外国籍の船はソ連、パナマ、リベリアなどが多く、中国からも3隻入港しましたところで、昨年1年間に田子の浦港で

取扱った貨物品は全体で680万トン、一番多いのは重油、セメントなどの化学工業品で293万トン。次いで砂利や砂などの鉱産品で200万トン、林産品が77万トンなどです。しかし、化学工業品、鉱産品などは国内取引で、輸出入となると変わってきます。

しかし、田子の浦港の場合、輸出はほとんどなく輸入ばかりです。輸入品の主なものは、原木、チップなどの林産品、豆などの農水産品などで、昨年の取扱い高は98万トンでした。

【入港検査は税関の大切な仕事】



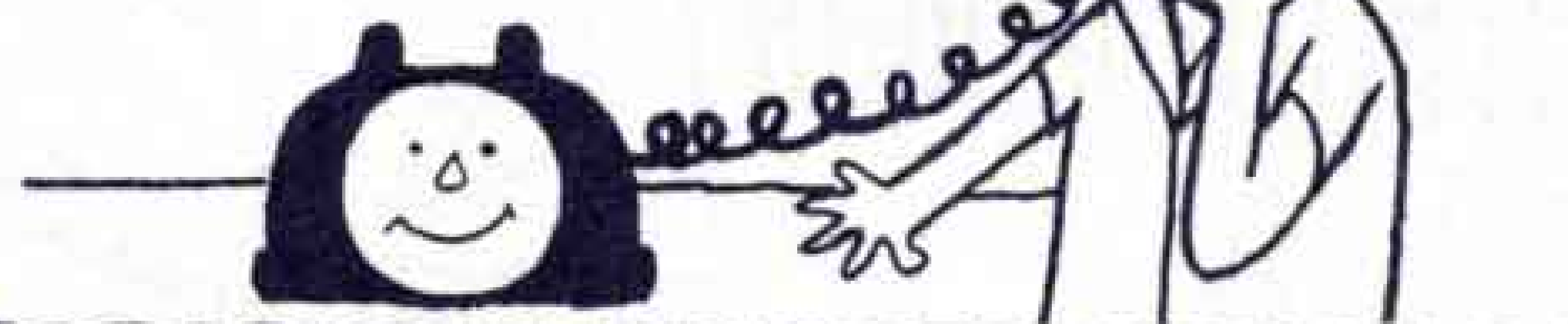
税関でも海外旅行の手続相談を

輸出入品の検査や密輸を防止するため、田子の浦港にも税関が設置されているのをご存知ですか。田子の浦港が昭和41年国際貿易港に指定と同時に開設されたので今年で、7年目を迎えました。

田子の浦港の税関は、清水税関支署田子の浦出張所（鈴川315、電話33-0598）で、4名の税関職員が配置されています。なお、税関では輸出入貿易や海外旅行の税関手続きなどについてもみなさんのご相談に応じていますのでご利用ください。

電話番号はよくたしかめて

市役所の電話番号は
51-0123番
です!!

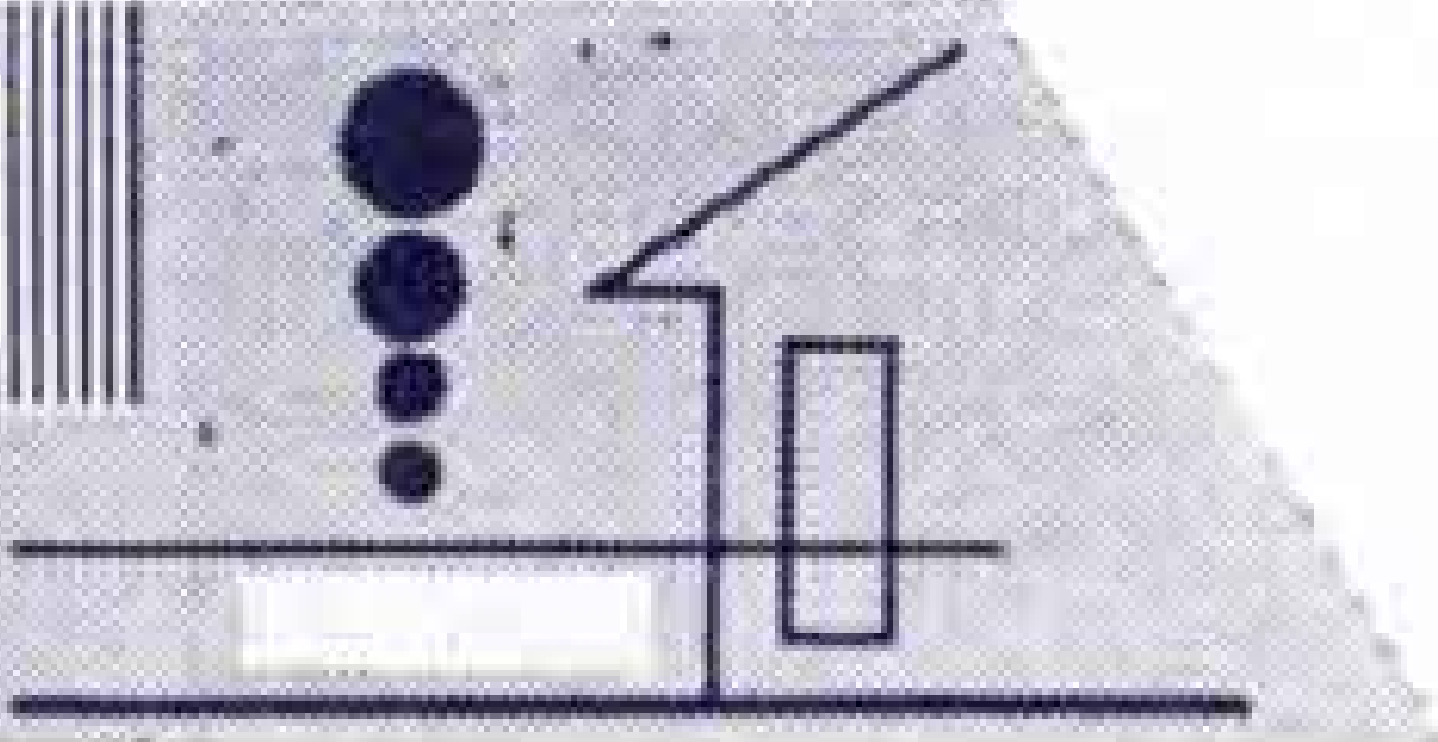


＝訂正＝

広報ふじ137号（6月25日発行）の6ページ、市議会6月定例会の中に誤りがありましたので訂正いたします。

医療手当のうち所得制限税額の引上げは48年10月1日からが48年4月1日、医療手当の増額は48年4月1日が48年10月1日です。また、富士市地方卸売市場特別委員会の委員長針木実は鈴木実です。

市政モニター提言



公民館を中心にした 社会教育を

地区民待望の今泉公民館が伝法公民館と同時に完成し、喜びは言い知れぬものがあります。すべての地域活動における住みよい社会づくりの拠点として、今後の活用が楽しみです。

また、神戸地区にも建設が計画されているとのこと。恐らく昭和45年以來の短期間に13地区に完成を見る

事は、実に県下はもとより他県にも例のない事でしょう。

地区住民福祉に寄せる市当局の努力に心から感謝と敬意を表わすものであります。何とぞ今後は、この建物を通じ社会教育の推進と行政のパイプ役として、より高度の指導性を持つよう一地区住民として要望致します。(伊藤善隆・今泉2丁目)



【このほど完成した今泉公民館】



緑と花のコーナー

上手な水のあたえ 方は……

草花にうまく水をやれるようになれば1人前の園芸家といわれるほど「水やり」はむずかしいものです。

水やりくらい誰にでも簡単にできている人も多いと思います。ところが、水のやり方のうまい、へたによって生育がよくなったり悪くなったり、ひどい場合は枯れてしまうこともあります。

水が少なすぎて枯れるとはかぎりませ

ん。多すぎて枯れることもあるのです。

なぜ、水やりがむずかしいかというと植物の種類、大きさ、季節、天候、場所で量が違って来るからです。普通1日1回やれば十分ですが、風が強く極端に乾く日には2回与える必要もあります。また、逆に湿度が高くジメジメした日は、水を与えなくてもよい場合もあります。

植物も生きていますから、その時によって要求量が違います。したがって、植物の表情や土の状態をみて、乾いたらやるようにしてください。ところがこの判断がむずかしいのです。丈夫な植物は多少水かげんを間違えても生きています。しかし、デリケートな植物では水を与えすぎれば根が腐ってしまい、たりなけれ

ば乾燥によって枯死してしまいます。

それでは、最後に水やりの原則をあげてみると①乾いたら与える。いつでもじめじめしているのはよくありません。②与えるときにはタツプリと、少しずつ回数を多くするのはよくありません。③なるべく夕方には与えないこと。④夏は真昼の高温時をさける。⑤1日1回なら午前中に与える、などです。

鉢植えの植物には次のような方法を試みてはいかがでしょうか。

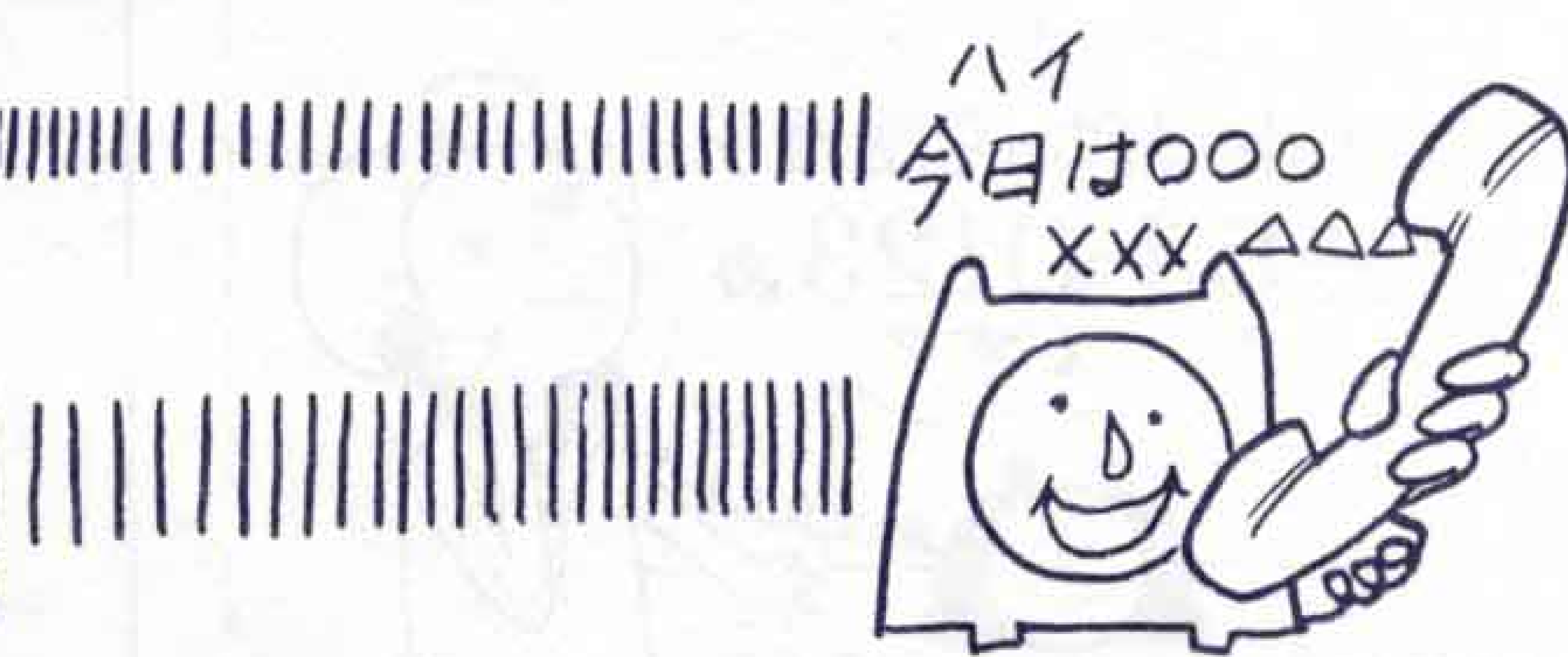
- ・受け皿 浅い受け皿に水を入れ、その中に鉢を入れる。
- ・二重鉢 小さな鉢は乾きやすいのでひと回り大きい鉢にすっぽり入れる。
- ・ウレタンマット 鉢の下にウレタンマットをしき、鉢が乾けばマットにしみこんだ水分が多少しみあがってくる。

ダイヤル市政案内をご利用ください

電話番号

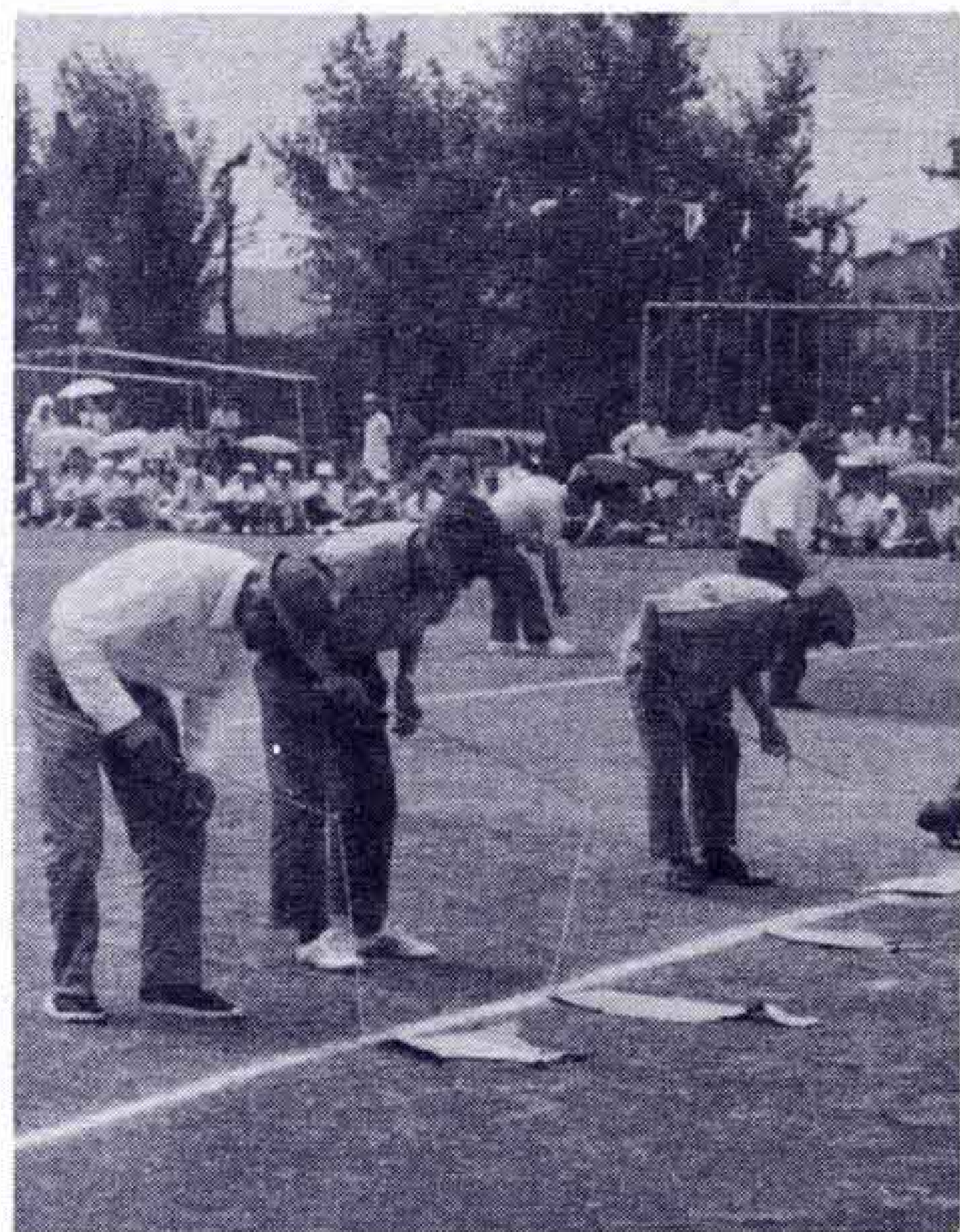
52-1111

催し物や各種の募集、予防注射、休日当直医などを電話でお知らせしています。すでに録音してあるテープで、毎日の行事案内を流しますから、いつでも知ることができますのでご利用ください。電話番号は52-1111です。





【風船も背中ではなかなか割れません】



お年寄りもスポーツや勉強に 大ハッスル

■寿大学の開校式

社会福祉センターで寿大学の開校式を6月28日行ないました。市内の老人クラブから約250人が出席し、福祉センターの大広間も満員となりました。勉強会では、午前中渡辺市長の富士市政について、午後老人クラブの運営についてなど話しを聞きました。

■珍プレー続出の老人スポーツ大会

第1回老人スポーツ大会を7月1日吉原小学校のグラウンドで盛大に行ないました。球送り、風船割りなど各種目に全員が汗を流し、日ごろの運動不足も忘れるほど大ハッスル、珍プレーの続出にあちこちで拍手が起っていました。



【渡辺市長が富士市政について講演】



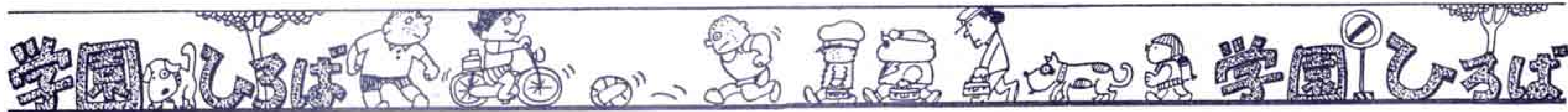
自転車の安全乗り方教室

自転車の安全な乗り方コンテストを、このほど吉原小学校の講堂で行ないました。コンテストには、吉原小学校や吉永第2小学校などから13チームが参加。せまい直線コースの安全な通行、ジグザグ進行などの実技テストと交通規制や道路標識テストを行ないました。各チームとも実力が接近し、審査員の採点もきびしく行なわれました。

■団体の部 優勝 吉原小学校Aチーム

■個人の部 優勝 馬淵真一（吉原小）

なお、団体の部で優勝した吉原小学校は、今月静岡市で開かれる県大会へ出場します。



忘れ物をとどけて……

富士市立東小学校6年

後藤 礼子



6月24日。
三井さんと太田さんと私とでピアノへ行くので、バスに乗りました。私たちの前の席には、おばあさんと3人の子供がいました。おばあさんたちは、まだ発車までに時間があると思って近くのおみせへ、荷物だけ席に置いて買い物に行きました。それから1分ぐらい後、バスは走ってしまいました。私たちの顔は青くなり、おみせではおば

あさんがすごく心配そうだった。私たちも迷った。どうしたらよいのか。3人の意見が一致し、次の停留場でお荷物をもって行ってあげることにした。ブザーをおし料金をはらって、急いで船津へかけもどった。その時の私は、「1秒でも早くおばあさんに荷物をわたさなければ……。」と思った。やっと船津についた。あせびっしょりだ。船津には、さっきのおばあ

さんが、心配そうにおじいさんにはなしていた。そして私たちが「あの、おばあさん。この荷物……。」と言ったら「どうもありがとう。」とたいへんよろこんでくれました。まわりにいた人たちもえらかったとほめてくださいました。私たちは「やるべきことをやっただけなのに……」という気持ちでいっぱいだった。



東小学校章



田子中が中丸へ移転

田子浦中学校の新しい校舎を田子浦小学校の西へ建設していましたが、さきごろ完成し、6月17日移転しました。新しい校舎は、鉄筋コンクリート4階建て、普通教室が24室、特別教室が6室あります。なお、田子中の新しい住所は中丸441番地です。電話番号は61-0534で変わりません。↓



砂の造形大会

荒田島子ども会に県知事賞

静岡県砂の造形大会が、6月17日に行なわれました。富士市の会場になった元吉原海岸には、274チーム3000人が集まりました。

各チームとも趣向をこらし、ワニやカメ、サルなどの作品をつくりました。いずれの作品もできばえはよく、審査員は賞を決めるのに苦労していました。

- 静岡県知事賞 「子ガニの誕生」 吉厚小学校区荒田島子ども会
- 静岡県教育長賞 「サル」今泉小学校区富士見町子ども会

- 静岡県子ども会世話人連合会長賞 「すもう」広見小学校区三ツ倉南子ども会
- 静岡新聞・静岡放送賞 「かぶと」大淵小学校区穴原子子ども会
- 富士市子ども会世話人連絡協議会会長賞 「アザラシ」富士第2小学校区柳川子ども会
- 富士市長賞 「ワニ」原田小学校区宇東川子ども会
- 富士市教育長賞 「カメ」鷹岡小学校区天間南子ども会